

平成27年度 事業報告書

自 平成27年4月1日

至 平成28年3月31日

1. 事業の概要

平成27年度は「運用支援業務の品質向上」及び「経営の健全化」を最重点事業と定め、会員の方々から一層センターを利用いただけるよう推進することで「事業基盤の確立と事業拡大の礎を築く」年度として取り組みました。

中でも運用支援業務の品質向上については、行政会員様の基幹システム、医療システムなどの更新が行われ、加えてマイナンバー制度対応のためのシステム改修が行われたことから、通常業務と並行して新システムの検証、移行データの確認及び運用支援作業手順書の見直しを行うなどして、運用支援業務の品質の維持・向上に努めました。

また、経営の健全化については、職員が培った技術を活用して新たに水沢駅及び水沢江刺駅の観光情報発信システムを受注及び構築するとともに、情報機器を活用した牛の繁殖管理技術の改善のための実証実験に取り組むなど、新たな収入確保のための業務範囲の拡大に努めました。併せて、既存資産を活用したセンターの利用拡大、新規ビジネスの創設について、昨年度に引き続き検討を重ねております。

顧客サービスの向上については、新たなシステム構築時における打ち合わせや運用支援業務の定期報告などにおいてお客様のニーズを把握し、その実現に向けて取り組みました。また、印刷物等の業務処理及び成果品の検証手順書の全面改正を行い、成果品・サービスの更なる品質の向上に努めました。

内部組織の活性化については、人材育成プラン及び内部体制の検討などを行い、1名をシステムベンダーに研修派遣を実施、また2名の新規職員の採用を決めるなど、後年度に向け職員の活性化に取り組みました。

最後に、当年度は特例の年度（マイナンバー制度、次期システム対応等）でも有り経営収支も黒字で締めることができました。これも偏に、会員皆様のご支援、ご協力の賜物と深く感謝しております。今後も公益目的支出計画及びセンター事業計画の実施を通して、会員皆様の一助を担いながら地域農業の振興と発展、地域住民の福祉の向上に努めてまいります。

2. 重点事業項目「平成27年4月～平成28年3月」

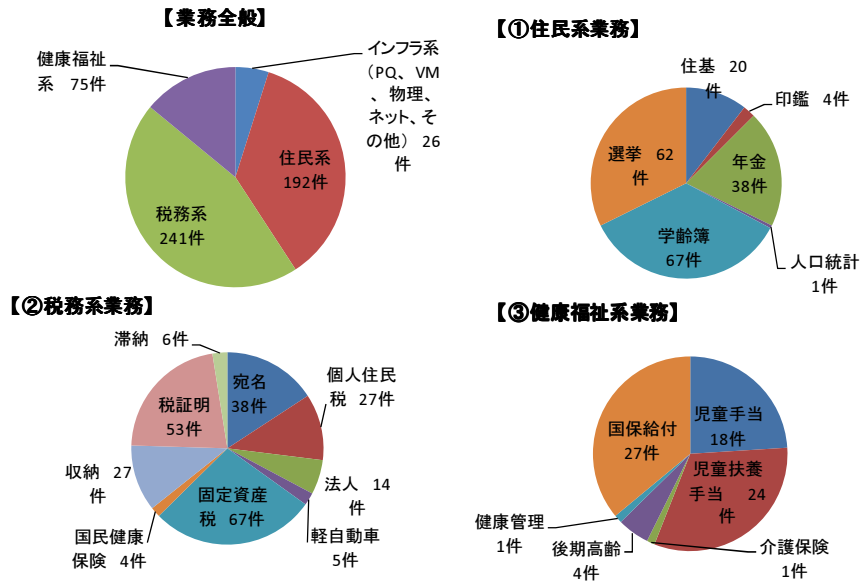
重点項目	計画	目標/内容	業務実績
顧客サービスの向上	顧客への対応強化	奥州市様基幹系システム一括導入に係る課題管理調査	<ul style="list-style-type: none"> ■ 課題管理調査を実施 ⇒調査内容の精査 ⇒各業務担当が関係部署の担当者様と課題対応について協議（平成27年8月で完了） 【9頁 参照】
	運用支援業務実績の定期報告	運用支援業務実績の定期報告（会員対象）1回/年以上実施 ※お客様のニーズ等を捉えることを目的に、会員に対し定期的な実績の報告を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 定期報告の実施 ⇒奥州市(1回/月)、金ケ崎町(1回/2ヶ月)、胆沢平野(1回/年)、JA岩手ふるさと・JA江刺(1回/年) 【14頁 参照】
		関係団体への訪問（会員以外の業務受託団体対象）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 実施団体 ⇒水沢病院(2回/年)、奥州金ケ崎行政事務組合(1回/年)
	成果品・サービスの品質向上（不具合ゼロ&納期遵守）	人的ミス件数目標値 月平均0.5件以下/月 (6件以下/年)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人的ミス件数 ⇒0.5件（6件/年：目標値内） 【9頁 参照】 ■ 障害報告の徹底
		障害管理の徹底と迅速な顧客対応	<ul style="list-style-type: none"> ■ 奥州市基幹システム用端末展開手順書作成
障害の未然防止対策の実施		<ul style="list-style-type: none"> ■ 新検証手順の作成及び職員への周知（指導） 	
運用支援業務の品質向上	運用支援業務の見直し改善	運用支援業務の品質向上	<ul style="list-style-type: none"> ■ 奥州市新システム用業務手順書の更新
	重要業務管理の徹底	共通番号制度への対応（奥州市・金ケ崎町）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第2・第3フェーズへの対応 ⇒CSシステムによる個人番号利用及びカード交付と団体統合利用番号連携サーバの整備 【10頁 参照】
		次期基幹システム更新（奥州市）	<ul style="list-style-type: none"> ■ 奥州市運用テストに伴う作業 ⇒スケジュールに沿った運用テストの実施 ⇒導入システムによる運用支援継続 【10頁 参照】
		次期医療システム更新（水沢病院）	<ul style="list-style-type: none"> ■ システム導入による安定稼働 ⇒現行バージョンアップ作業と並行した更新の実施 ⇒移行したシステムの運用体制の整備と変更した処理の変更作業を完了 【10頁 参照】
BCP（事業継続計画）への取り組み	I SMS（ISO27001）の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ■ 更新審査(平成28年2月25日～2月26日)の合格 	
	情報セキュリティ対応	<ul style="list-style-type: none"> ■ マイナンバー制度対応 ⇒プロジェクトを設置し規定等の整備を完了 	
経営の健全化	公益目的支出計画を確実に実施	計画した公益事業推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全ての事業支援について計画のとおり実施済み 【11頁～参照】
	新たな収入源確保への取り組み	既存資産を活用したビジネス拡大	<ul style="list-style-type: none"> ■ 営農組織経理支援システムの活用 ⇒活用の推進を行うが成果ならず ■ 職員の能力活用 ⇒ベンダーから請負作業
		新規ビジネス計画書の策定と実施	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水沢駅・水沢江刺駅構内観光案内所のIT化 ⇒情報発信機器の設置及び管理(水沢駅：平成27年7月～、水沢江刺駅：平成28年3月～) ■ 肉用牛繁殖のIT化(畜産クラスター協議会) ⇒情報発信機器の設置及び管理(平成28年3月～)
内部組織の活性化	人材育成プラン運用の確立	プラン運用推進の対応	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研修派遣の実施 ⇒システムベンダーへ職員1名派遣(平成27年9月～) ■ 教育の実施 ⇒各種研修を受講
	円滑な業務体制への取り組み	業務作業効率化の対応	<ul style="list-style-type: none"> ■ 内部体制の見直し検討 ⇒正職員の採用2名（平成28年4月～）

○ 顧客サービスの向上

<顧客ニーズの対応強化>

平成27年度奥州市様基幹系システム一括導入に係る課題管理調査 **課題案件総数：534件**

- ・導入時課題案件による奥州市様担当課等との協議を平成27年3月～平成27年8月まで実施
- ・内容を精査した結果、各業務で分類し全て対応完了



課題調査による総括

- ◆ 課題調査による要望事項につきまして、費用が発生するカスタマイズ案件の場合は、弊社の運用で回避出来ないかベンダーと事前協議したうえ費用対効果の意識を共有し、検討した結果、原課担当者様が操作するオンライン画面でのカスタマイズ修正等を抑止する事が出来ました。
- ◆ 新規導入の中で機器更新だけを実施した業務システム(介護・国保・健康管理等)は、既に使用されているシステムである事から、新規のご要望は特に検討しないで課題のみを協議し、導入をスムーズに実施する事が出来ました。
- ◆ 今後も発生する課題につきましては、引き続きベンダーと弊社が課題を共有し、問題解決に向けて検討いたします。

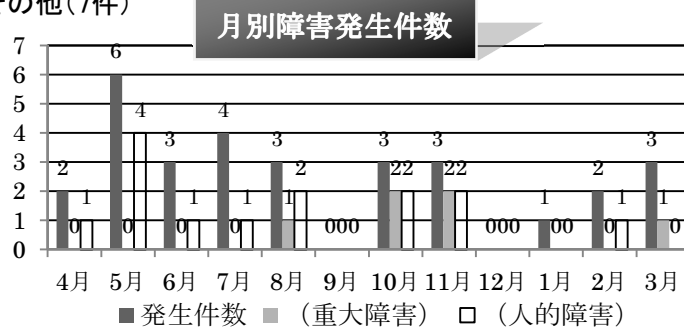
<成果品・サービスの品質向上>

(1) 成果品の品質向上

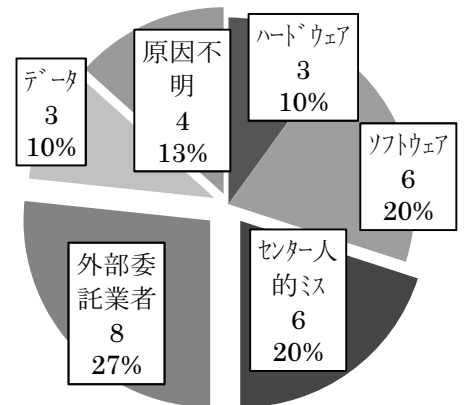
- ・目標:センター人的ミス件数⇒月0.5件以下
- ・実績:センター人的ミス件数⇒月0.5件 (6件/年)

【業務系の障害分析状況】 全障害件数30件:

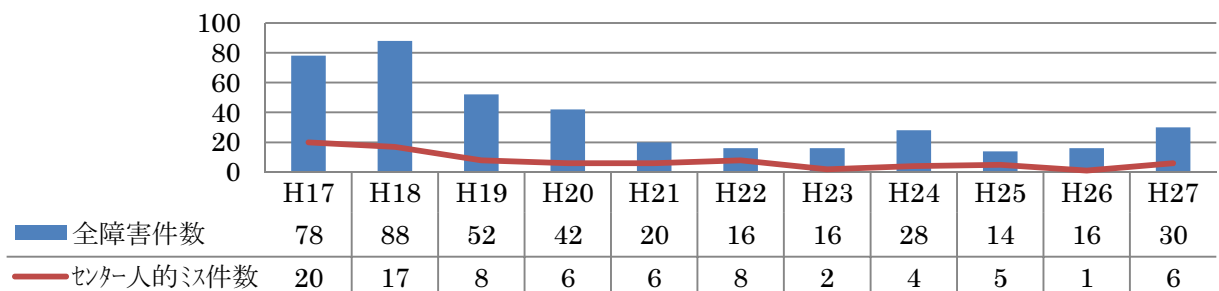
ソフト関連(6件)、ハード関連(3件)、人的関連(14件)、その他(7件)



障害原因別分類



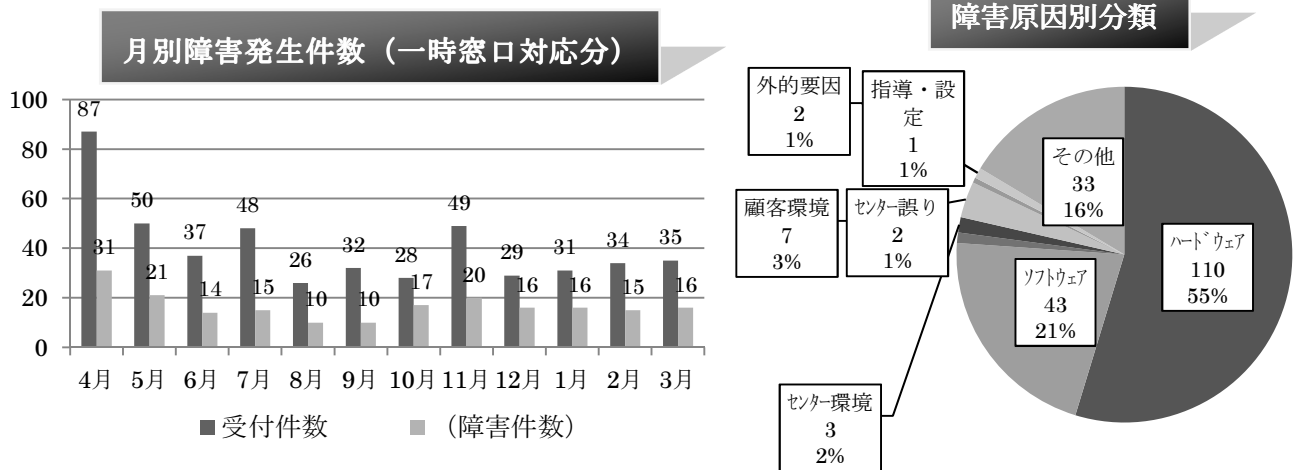
【過年度比較】



(2)奥州市機器のセンター受付対応分の障害状況 [受付: 486件 (内障害 201件 : 16.8件/月)]

参考:H26年度 [受付:461件 (内障害 187件 : 15.6件/月)]

【主な障害(サーバ・端末系) H27年4月~H28年3月】

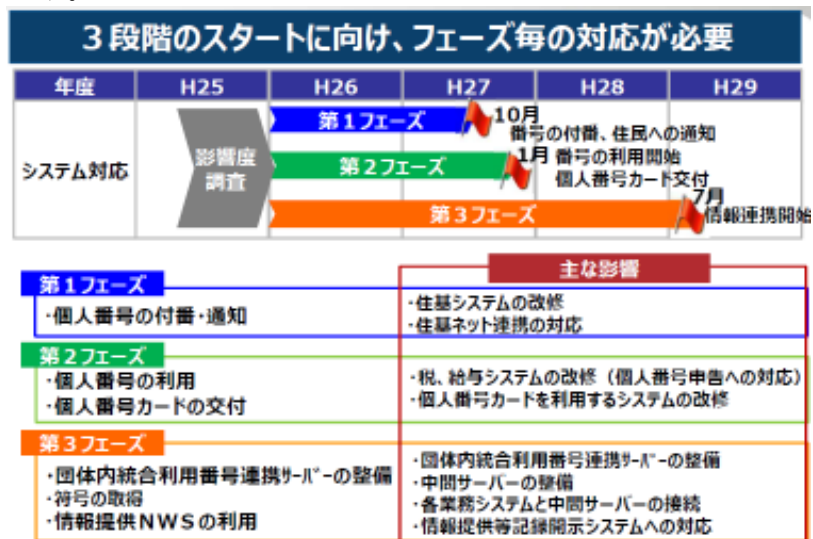


○ 運用支援業務の品質向上

<重要業務プロジェクト管理の徹底>

(1)共通番号(社会保障・税番号)制度への対応(奥州市・金ケ崎町)

平成28年1月までにCSサーバ更新作業及び新しいCS統合端末を導入し、第2フェーズ(システムによる個人番号利用及びカード交付)の行程を完了いたしました。また、第3フェーズによる団体統合利用番号連携サーバの整備を平成28年4月までに構築し、今後は、データ整合性確認及び連携テストを実施する予定です。



(2)次期基幹システム更新(奥州市)

導入したシステム運用テストでは、奥州市職員様主体の作業として、平成27年7月からの運用テスト工程をスケジュールに沿って実施し、弊社とのバッチ処理テストを経て、本番運用に問題がないことを確認しながら導入を完了いたしました。

また、平成27年10月からの次期基幹系システム導入後の運用管理について、奥州市様の機器運用・保守を行ってきた弊社と合併時よりIT資産全般を構築してきたベンダー様による協力体制を整えながら、安定稼働について迅速なサポートを実施いたしました。今後も継続して、サービスの維持・向上に努めます。

(3)次期医療システム更新(奥州市総合水沢病院)

保守による現行システムバージョンアップ作業と並行し、支障なく機器更新を実施する事が出来ました。また、連携する既存システムとの親和性を確認しつつ、移行したシステムの資料等の提出について、スムーズな運用できる体制を整え、無事に移行を完了いたしました。

3. 事業報告附属明細書

(1) 実施「公益目的」事業実績

① 営農経理事務支援事業

業 務 名	累 計		団 体 名				
	増減	団体数	胆沢区	金ヶ崎町	江刺区	衣川区	平泉町
集落営農経理事務支援	-1	15	4(±0)	11(-1)			
中山間直接支払経理事務支援	-2	4			4(±0)	0(-1)	0(-1)

※JA岩手ふるさと様からデータの提供

◆集落営農経理事務支援

国の農業施策である農業者戸別所得補償制度において、複数の販売農家により構成される農作業受託組織である集落営農が、生産・販売について共同販売経理を行うことが加入要件とされていることから、集落営農における共同販売経理は、費用や利益を各構成員に配分する手間が煩雑で集落営農の負担となっているため、共同販売経理支援を行っている。

事業の内容は、補助金及び購買・作業労賃に関する電算処理、米・野菜・大豆等の生産及び施設利用経費に関する電算処理、複式簿記による会計支援及び損益分配に関する電算処理などを実施した。

◆中山間直接支払経理事務支援

国の農業施策である中山間地域等直接支払交付金（以下「交付金」）の対象集落及び農業者が、交付金の申請に要する大量の書類を作成する必要があり、高齢化が進む中山間地域において、このような交付金にかかる事務作業を行うことは困難となってきたため、交付金にかかる書類の作成を代行し事務の支援を行っている。

事業の内容は、交付金交付申請書等年間提出書類一式（交付金交付申請書、交付金精算報告書、事業実績書、収支決算書、収支報告書、報酬等支払報告書、申告用の支払報告書、個人別支払明細書）の作成などを実施した。

② 農業振興事業

業 務 名	累 計		団 体 名
	増減	団体数	
胆江広域農業懇談会の開催		9	奥州市、金ヶ崎町、岩手ふるさと農業協同組合、岩手江刺農業協同組合、胆沢平野土地改良区、岩手県南広域振興局、奥州農業改良普及センター、岩手県南青果市場、全国農業協同組合連合会岩手県本部
農業再生協議会事務支援		5	奥州市、金ヶ崎町、胆江地域農業共済組合、奥州市農業再生協議会、金ヶ崎町農業再生協議会
営農情報発信支援	-	-	HPの公開 (http://www.tankome.jp/)

◆胆江広域農業懇談会

胆江地域の農業振興を目的として、市町村行政区域を越えた広域的な農業施策と関連施設の総合化を図るため、米集荷実績、家畜市場実績、園芸販売実績などの報告に基づき懇談会を開催した。

※平成28年2月19日開催

◆農業再生協議会事務支援

協議会が行う農業者への米の生産数量目標配分の計算及び転作物物交付金の計算等に必要となる水田管理システム・農家台帳システムを運営することにより、米の生産調整の円滑な推進に寄与している。

事業の内容は、協議会が使用する水田管理システム・農家台帳システムの運用管理をすると共に、生産数量目標配分計算、水田農業構造改革交付金（戸別所得補償対策）兼水稻共済細目書申告票作成、水稻共済細目書データ作成、転作等実施水田標示板印刷、転作水田確認野帳作成、産地づくり助成交付金計算、農家マスタデータ変換、水田マスタデータ変換、転作物物（大豆）データ変換、農家一覧表作成、水田登録一覧表作成、水田面積集計一覧表作成、字別水田登録一覧表作成、農業者別作付面積（集計一覧表）作成、転作物物別集計表作成、戸別所得補償モデル対策加入申請書作成などの処理を実施した。

◆営農情報発信支援

胆江地域の農業関連機関から農業に関連する情報を収集し、取りまとめて農業者に提供することにより、農業者に対する情報発信力を強化している。

事業の内容は、農業に係る情報をメール送信サービスにより農業者へ一斉送信するなど農業情報の提供を実施した。

③ その他生活支援事業

業 務 名	累 計		団 体 名
	増減	団体数	
ホームページ運用支援		5	奥州市 移住・情報交流館、子育てが1つ、牛の博物館、水道部、 住宅団地等物件情報、I L Cウェブサイト、いわて国体、 販売促進地域特産品紹介サイト（おうしゅう旅浪漫）、 Web博物館（歴史遺産課） 奥州市総合水沢病院+看護部 奥州市国民健康保険まごころ病院 （社）奥州市観光物産協会、 金ケ崎町社会福祉協議会
L G W A N - A S P 運用支援		2	奥州市、紫波町
社会福祉協議会事務支援		2	奥州市社会福祉協議会、金ケ崎町社会福祉協議会
文化振興財団事務支援		1	奥州市文化振興財団（Zホール友の会事務局）
学校事務（登下校通知）支援		1	奥州市立常盤小学校（生徒の保護者）

※追加：ゴシック表示

◆ホームページ運用支援

胆江地域の公的団体のホームページをシステム運営することにより、地域社会の健全な発展に寄与している。

事業内容は、各団体から依頼された内容にHPを更新する作業などを実施した。

◆L G W A N - A S P 運用支援

公的な「総合行政ネットワーク（LGWAN：Local Government Wide Area Network）」の通信回線を活用した安価な行政サービスシステムを構築・運営することにより、奥州市及び金ケ崎町の住民サービスの向上に寄与している。

事業の内容は、住基カードの条例利用及びコンビニ交付で必須のICカード標準システムのサービス提供及び保守などを実施した。

◆社会福祉協議会事務支援

胆江地域の社会福祉協議会の福祉サービスをIT技術によりシステム化することにより、より効率的な福祉サービスの向上に寄与している。

事業の内容は、福祉サービス（介護保険、介護予防ケアマネジメント委託先、利用者台帳、ケア記録）システムの保守などを実施した。

◆文化振興財団事務支援

財団法人奥州市文化振興財団のZホール友の会事務局の業務をIT技術によりシステム化することにより、より効率的な顧客サービスの向上に寄与している。

事業の内容は、財団法人奥州市文化振興財団 Zホール友の会事務局で使用するシステム（会員台帳、チケット予約管理、イベント台帳管理）の保守などを実施した。

◆学校事務（登下校通知）支援

保護者が児童の登下校を把握出来るシステムを運営することにより、保護者の登下校時における児童への安心感を高め、地域社会の健全な発展に寄与している。

事業の内容は、児童の登下校をICタグ（アクティブ型）で把握し、保護者に、児童の登下校を通知する登下校通知システムを運営すること。記録された登下校時刻は、メールアドレスを登録された保護者にメールで送信されることにより、児童が無事に学校に着いたこと等が確認できるシステムの保守などを実施した。

(2) その他「収益」事業実績

①行政業務

業務名	累計		団体名		業務名	累計		団体名	
	増減	団体数	奥州市	金ケ崎町		増減	団体数	奥州市	金ケ崎町
住民記録		2	◇	△	介護保険事務		2	◇	△
住基ネット		2	◇	△	介護保険料・認定		2	◇	△
印鑑登録		2	◇	△	健康管理		2	◇	◎
戸籍附票		1	◇		高額医療		1	◇	
国民年金		2	◇	△	国保共同事務		2	◇	○
福祉年金		1	◇		県単独医療		1	◇	
選挙事務		2	◇	△	老人医療		2	◇	○
教育事務		2	◇	△	後期高齢者		2	◇	△
学校給食		2	◇	○	保育料金		2	◇	○
住宅使用料		1	◇		病院医療事務		1	◇水沢病院	
個人住民税		2	◇	△	ホダリング		1	◇水沢病院	
固定資産税		2	◇	△	土木積算		1	◇	
軽自動車税		2	◇	△	地籍管理		1	◇	
国民健康保険税		2	◇	△	公営企業会計		1	◇	
法人住民税		2	◇	△	受益者負担金		2	◇	○
法人管理台帳		2	◇	△	汚水・集落排水		1	◇	
収納管理		2	◇	△	水田台帳管理		2	◎	◎
申告支援		1	◇		農家基本台帳		1	◇	
税証明		2	◇	△	人事給与		1	◇	
国民健康保険		2	◇	△	財務会計		1	◇	

②農業及び会員関連団体業務

務名	累計		団体名				
	増減	団体数	J A岩手 ふるさと	J A江刺	胆沢平野 土地改良区	奥州金ケ崎 行政事務組合	JA胆江地区 葬祭センター
農組織経理支援		1	◎				
水田関連事務		1		○			
給与計算		2				○	○
一般・償還賦課金計算		1			◎		
介護保険認定支援		1				◎	

③その他関連団体業務

業務名	累計		団体名				
	増減	団体数	奥州市 社会福祉協議	金ケ崎町 社会福祉協議	一社)奥州市 観光物産協会	奥州市 医師会	水沢一高
端末管理支援		4	☆	☆	☆		☆
介護関係システム支援		2	☆	☆			
特定健診電子データ作成支援		1				○	
運用支援		1			◇		

◇:運用支援 (◎:ワライ 〇:バッヂ) △:CSS ☆:保守

◆システム運用支援

センターに設置している機器を安定稼働させことで、各会員の職員の方々が快適かつ効率良く業務が遂行できることを目的に、次のサービスなどを実施した。

(1) システム運用サービス

システムを安定利用できることを目的にスケジュール、ハードウェア環境、ソフトウェア環境、ネットワーク環境、ハードウェアメンテナンス、ソフトウェアメンテナンス、システム環境などの管理及びシステムバックアップ等を実施した。

(2) 障害対応サービス

システム監視、目視稼働確認などで機器等の障害対応等を迅速に実施した。

(3) 業務運用サービス

定期・依頼によりバッチジョブオペレーション「バッチジョブ運用、業務データバックアップ運用」、業務オペレーション「媒体運用、帳票運用、デリバリ運用、マスタメンテナンス、外字管理、電子公印管理」、システムサポートサービス「Q&A受付、Q&A切り分け、回答作成」、業務アプリケーション保守サービス「業務アプリケーション障害対応、業務アプリケーション障害報告、業務アプリケーション機能変更、テスト環境の維持管理、業務アプリケーション資産管理」等の処理を実施した。

(4) 端末運用管理サービス

端末機器が障害等で使用不可となった端末機器の復旧、または新規で購入した端末機器の設定作業などを実施した。